

令和3年3月

理事長退任ご挨拶

本年2月の定例総会に於いて任期満了につき、理事長を退任させて頂きました。2年間宮内会長はじめ各大学の理事の皆様、学生委員の諸君そしてOB・OGの皆様には、連盟運営に大変ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

後任には、私をご提案申し上げた理事長輪番制の導入により、東京大学の大橋常任理事に就任頂きました。コロナ感染症も減少傾向にありワクチンの接種も始まりましたが、まだまだ予断を許せない状況です。新理事長にはご苦労をお掛けいたしますが、連盟の運営宜しくお願ひしたいと思います。

私は、就任時に選手諸君にお願ひした事は、「マナーの向上と感謝」でした。礼儀正しさとフェアプレー、宮内会長も言っておられる対戦相手は、「敵」でなく「仲間」です。そして、東京六大学準硬式野球連盟の運営は、学生が主導する事に意味があります。本部の学生委員、学生審判、OBを含めた審判団そして連盟理事の皆様には敬意と思いやりを持つことこそ学生野球の根本であり、先輩の方々が苦勞して築き上げた準硬式野球の真髓と思うからです。

また、特に印象に残った事は、東海地区で開催された第72回の全国大会に明治大学と早稲田大学の2校が出場し両校が活躍した事です。第53回大会に優勝した法政大学以来19年振りに早稲田大学が東京六大学に優勝旗を持ち帰ってくれました。感激しました。

最後になりますが、コロナ渦の中、今後予定しているすべての大会が無事に開催され、東京六大学が活躍できることを祈念して、理事長退任のご挨拶とさせて頂きます。

有難うございました。

小林憲人